

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

施設所管課		市民部 スポーツ課
施設名	大津市民プール(伊香立・坂本・晴嵐・曾東)	
指定管理者	株式会社linkworks	
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日	
指定管理料	年額9,666,600円（令和6年度）（総額29,000,000円）	
設置目的	市民にスポーツ、レクリエーションの場を提供するとともに健康の保持増進を図るため。	
業務内容	大津市民プール条例第12条各号に規定する業務。 ・プールを利用に供する業務 ・プールの使用の許可に関する業務 ・プールの施設及び施設の維持管理に関する業務 ・その他市長が定める業務	

所管課 総合評価	I～IVによる総合評価	総合評価コメント
	B（良好）	令和6年度の利用者数及び利用料金は、前年度比で減少しているが、最高気温更新などの酷暑が原因と思われる。自主事業については、利用者アンケート等からニーズを把握して、次回に活かすように努めていただきたい。施設運営については、緊急事態発生時のフローチャート等が整備済みで、安全面に配慮した施設運営が実施できているので、今後も引き続き実施していただきたい。

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
I 実施体制	施設の設置目的の達成 □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B（良好）	営業期間中、市民にスポーツ、レクリエーションの場を提供する事、安全・安心に利用できる施設運営をめざして運営した。	B（良好）	適切な管理運営に努めている。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B（良好）	営業期間中、事業計画に沿って職員を配置し、関連法令を遵守した労務管理を行った。	B（良好）	適正な雇用及び配置ができています。
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B（良好）	従業員の質向上を目的に、営業期間前に事前研修及び現場のOJTに加え、合同研修会を開催した。	B（良好）	研修及び現場OJTを実施し、従業員の能力向上に努めている。
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B（良好）	随時関係法令等の確認を行うよう努め法令遵守した。	B（良好）	法令順守に努めている。
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	B（良好）	協定書に基づき、弊社個人情報保護マニュアルに沿って適切に取り扱った。	B（良好）	マニュアルに沿って適切に運用している。
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B（良好）	営業期間中、日常業務としてプール管理日誌、設備点検業務日誌を作成した。	B（良好）	適切に整備・保管されている。
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B（良好）	日常の連絡体制に加え、共同事業体内、担当課との連絡調整も随時行った。	B（良好）	適切な連絡体制に努めている。
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B（良好）	営業期間中、施設各所に連絡網、緊急事態発生時のフローチャートを掲示し、救命講習時CPR実施方法の確認を実施。日々の安全啓発を行った。	B（良好）	適切な緊急連絡体制及び緊急時の対応方法の確認ができています。
【I 総括】 業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】			B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ 内 容 ・ 水 準	施設管理 ☐ 開館日、開館時間を遵守していたか。 ☐ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B (良好)	営業期間中は、日々の巡回数を増加し、事故が起こらないように取り組んだ。営業期間外は、毎月1回の施設巡回を実施施設維持に努めた。	B (良好)	事故防止のために必要な巡回が実施できている。
	利用状況 ☐ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	本年度：7,163人 前年度：7,685人 前年対比：約93%	B (良好)	前年度比で利用者は減少しているが、最高気温更新などの酷暑が原因と思われる。
	利用者対応 ☐ 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 ☐ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 ☐ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B (良好)	営業期間中、伊香立、坂本、晴嵐、曾東、全4施設とも問題なく運営できた。	B (良好)	適切な利用者対応に努めている。
	業務運営(全体) ☐ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 ☐ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	営業期間中、施設の運営は利用者の安心安全を心掛けた。	B (良好)	利用者の安心安全に配慮した運営に努めている。
	自主事業運営 ☐ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 ☐ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 ☐ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 ☐ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B (良好)	営業期間中(7月20日～8月31日)伊香立・晴嵐：飲料水販売	B (良好)	利用者のニーズに応じた事業に努めている。
	維持管理 ☐ 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 ☐ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 ☐ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 ☐ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 ☐ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	営業期間中、施設の保守管理、日常の清掃保安警護、維持管理は計画通り行った。営業期間外は、毎月1回の施設巡回を実施施設維持に努めた。	B (良好)	適切な維持管理が実施されている。
	情報提供 ☐ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 ☐ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	営業期間中、各施設に、問合せ窓口(問い合わせ先)への貼り出しを行った。	B (良好)	適切な情報発信が行われている。
	環境配慮 ☐ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	営業期間中、事務所空調使用時間の調整を行い、省資源・省エネルギー等環境配慮した運営を行った。	B (良好)	環境に配慮した運営を実施している。
	ユニバーサルデザイン等への配慮 ☐ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対するの合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	施設内において可能な範囲で実施している。	B (良好)	可能な範囲で障害者への配慮が実施できている。
	意見・要望・苦情 ☐ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 ☐ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	営業期間中、お客様からいただいたご意見は速やかに各施設に伝達し、統一感を持った運営を心掛けた。	B (良好)	お客様からの意見について、速やかに対応できている。
	利用者アンケート ☐ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B (良好)	8月15日～8月31日の期間で実施した。	B (良好)	適正に実施されている。
【Ⅱ総括】 業務の内容・水準に関する評価【標準11項目／当施設11項目】			B(良好)		B(良好)	
Ⅲ 収 支 等	経理事務 ☐ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 ☐ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 ☐ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査(金庫等)	B (良好)	営業期間中、釣銭等の現金は金庫に収納し、施錠をおこなった。	B (良好)	適切な経理事務が行われている。
	収支状況 ☐ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入－支出はプラスとなっているか。 ☐ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	本年度：¥2,434,180 前年度：¥2,623,810 前年対比：約92.8%※自主事業含む	B (良好)	前年度比で売上は減少しているが、最高気温更新などの酷暑で利用者が減少したことが原因と思われる。
	経費節減の取組 ☐ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 ☐ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B (良好)	営業期間中、日々の水光熱検針管理で無駄をなくし、異常に気づく取り組みを実施した。また、気温や利用状況に応じた水道使用量の調整を行った。	B (良好)	適切な経費削減を実施している。
	【Ⅲ総括】 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設3項目】		B(良好)		B(良好)	
Ⅳ の そ の 他 等 (独 自)	その他 ☐ 努力事項として掲げた人材育成の取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	営業期間中、来期に向け、今年度新規アルバイト従事者に対し過去従事者より施設管理・接客技術の教育を重点的に行った。	B (良好)	適切な人材育成を行っている。
	【Ⅳ総括】 その他に関する評価【当施設1項目】		B(良好)		B(良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

主な成果 (全体)	使用料(利用料)	目標	3,191,000 円	⇒	実績	2,434,180 円
	稼働率	目標	- %	⇒	実績	- %
	利用者数	目標	10,000 人	⇒	実績	7,163 人
	【指定管理者コメント】					
	令和6年度の利用者数は、4施設合計7,163人(令和5年度7,685人)となり、前年比522人減少となりました。 令和6年度平均約166人(開催期間43日)、令和5年度平均約178人(開催期間43日)。 今期は期間を通じて猛暑の状態が続いており、プールの利用に影響したと思われます。 施設については休場する事なく、予定通りプールを営業できております。					
【施設所管課コメント】						
令和6年度の利用者数及び利用料金は、前年度比で減少しているが、最高気温更新などの酷暑が原因と思われる。今後も利用者の安全に配慮した運営に努めていただきたい。						

自主事業
実施による
成果

＜主な自主事業の実施状況＞				
事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況 (実施・追加・未実施)	特記事項(「未実施」の場合はその理由)
飲料の販売	自主事業	伊香立市民プール・晴嵐市民プールにてドリンクの対面販売	実施	
【指定管理者コメント】				
伊香立市民プール・晴嵐市民プールでは昨年度に引き続き、利用者の利便性と酷暑期間の水分補給を鑑み、手売りで飲料水の販売を実施した。				
【施設所管課コメント】				
酷暑期間のニーズに応じた自主事業が実施できている。利用者アンケート等からニーズを把握して、次回に活かすように努めていただきたい。				

課題及び 課題解決 の結果	【指定管理者コメント】
	令和6年度は昨年に引き続き、初めて施設をご利用される方や久しぶりに施設を訪れたお客さまが多く見受けられました。プール開設前の事前研修にて応急対応の研修を実施したことで、7月21日伊香立市民プールで発生した事故を速やかに対応する事ができました。猛暑が続く中の運営であったため、スタッフへの熱中症対策に関する注意喚起をおこなっております。令和7年度もこれまで以上のスタッフ連携と柔軟な対応を継続することで、多様化する利用者へ対応をして行く所存です。
	【施設所管課コメント】
	緊急事態発生時のフローチャート等が整備済みで、安心安全な施設運営が実施できている。今後も安全面に配慮した運営に努めていただきたい。

特記事項等	
-------	--

